



穴をあけて綴じてください



1月12日、産業プラザに招かれて演奏した六郷ばやし

お祭りは6月6日(土)・7日(日)

ことしも陰祭りですが、六郷神社の祭礼は城南地区最高のにぎわいを呈します。ご参拝の節には、社務所の窓口には、崇敬会の会員記帳所を設けますので、ぜひお立ち寄りください。平成10年度の会費払い込み、入会申し込みの受け付けもいたします。

全国でも数少ない子ども三匹獅子舞

去る5月1日から1カ月間、毎晩練習に励んだ少年少女による三匹獅子舞は、6日午後2時30分と5時30分からの2回、7日は午後1時、3時、5時30分からの3回、神楽殿で元気いっぱい演じられます。

祭りムードを盛り上げる六郷ばやし

また6日・7日の両日、神門前の棧敷では、崇敬会育成の青少年がバチさばきも鮮やかに六郷ばやしを演奏し、祭りムードをいやがうえにも盛り上げます。

なお、ことしは神社の二之神輿の渡御はありません。

六郷神社崇敬会
平成9年度決算報告書

(平成9年4月1日から平成10年3月31日まで)

(一) 収支計算書

(1) 収入の部				円
個人	会費	費用	1,710,000	
法人	会費	費用	660,000	
雑収入	繰越	入金	66,425	
前期	繰越	入金	377,434	
収入	合計		2,813,859	

(2) 支出の部				円
協賛	金	675,162		
10周年事業準備	繰入金	300,000		
備品	費	5,500		
会報	発行費	553,770		
会事	行費	41,017		
通会	信費	175,200		
会	議費	88,837		
郵便	振替払込	27,960		
消耗	品費	32,857		
渉外	費	51,463		
催事	費	329,505		
支出	合計	2,281,271		

(3) 次期繰越金 (1)-(2) 532,588

(二) 創立10周年事業準備金残高 300,000

(三) 資金残高内訳 (3)+(二) (平成10年3月31日現在)

現金	267,135円
郵便振替貯金	9,215
城南信用金庫普通預金	356,063
城南信用金庫定期預金	200,175
合計	832,588

監査報告書

監査の結果、上記平成9年度決算報告書は、正確であることを認めました。

平成10年5月9日

監事 代田 秀雄 (印)
監事 林 孝嘉 (印)

6月28日
第9回 定期総会にご出席ください

第9回定期総会を左記のとおり開催いたしますので、ぜひご出席ください。また、ご案内申し上げます。なお総会終了後、会員の懇親会を行います。

記

一、日時 平成10年6月28日(日) 午後1時30分

二、場所 大田区東六郷3-10-18 六郷神社社務所

三、会議の目的

① 報告事項

平成9年度会務及び事業報告の件

② 審議事項

1、平成9年度(平成9年4月1日から平成10年3月31日まで)決算報告書承認の件

2、平成10年度(平成10年4月1日から平成11年3月31日まで)事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件

3、役員改選の件

四、会員懇親会

平成9年度会務
および事業報告

平成10年3月31日現在、本会の会員数は、個人822名、法人86社。本年度は、常任理事会を8回、理事会を1回開催し、会報16・17号を発行しました。

平成9年4月1日 第80回ついでたち早朝まいり。講話「花ものがたり」森 繁春

4月20日 六郷神社氏子青年会創立20周年記念式典に10名出席。六郷ばやし演奏。

5月1日 第81回ついでたち早朝まいり。講話「わが母の思い出」足利幸吉

5月25日 会報第16号発行

6月1日 第82回ついでたち早朝まいり。講話「言葉のこころ—人という文字について—」上田格一

6月3日 六郷神社例大祭式典に代表参列。

6月7・8日 祭礼。両日、会員参拝記帳所を設け、神門前の棧敷で崇敬会育成の六郷ばやし奉納。

6月29日 第8回定期総会を午後1時30分より六郷神社社務所で開催。

7月1日 第83回ついでたち早朝まいり。講話「六郷地区にある小学校の校歌について」

杉山恵一

8月1日 第84回ついでたち早朝まいり。講話「七か七か」宮崎 豊

8月1～3日 氏子青年会主催の納涼盆踊り
大会協賛

9月1日 第85回ついたち早朝まいり。講話

「防災の日によせて」梅沢喜代造

10月1日 第86回ついたち早朝まいり。講話

「健康をとりもどした私」一色弘三

11月1日 第87回ついたち早朝まいり。講話

「心について」高橋準一

11月3日 創立記念日。快晴。「文化の日さ

わやかパーティー」と銘打ち、「ハナミズキ(花

水木)」の献木式後、大日本茶道協会のみ

なさんの奉仕で添釜(野点)が新庭園で行

われ、境内に設けた模擬店(やきそば・お

でん・おしるこ)は売り切れの盛況。神楽

殿では六郷ばやしを演奏、子どもたちには

おみやげが配られた。約600名参加。

12月1日 第88回ついたち早朝まいり。講話

「六郷小学校のPTA活動」出川和加子

12月20日 会報第17号発行

平成10年1月1日 歳旦祭に清酒2斗樽奉納。

氏子青年会の協力を得て初詣客に振る舞う。

社務所に献花。

1月3日 会員初詣昇殿参拝。約450名参加。

神社より神酒と「一陽来復」の特別神札が

授与され、本会からは御供物と甘酒進上。

1月7日 本年の流鏑祭には檜造りの木馬が

新調され、射士の子どもがそれにまたがり

八方白眼の的を鏑矢で射るといふ、新しい

様式に変わった。

第21回六郷のどんど焼きに有志協賛

1月12日 産業プラザの六郷地区新年初顔合

わせ会に、六郷ばやし演奏。

1月24日 氏子青年会の新年会参加

2月1日 第89回ついたち早朝まいり。講話

「長野オリンピックについて」森田賢治

3月1日 第90回ついたち早朝まいり。講話

「六郷のどんど焼き」吉田恒男

※六郷ばやし後継者の育成について

正調の六郷ばやしを復活したいと、川崎大

師駅前木村和治郎氏に指導をお願いして3

年目になる。平成9年は3月～5月、7月～

11月の毎日曜日の夜、六郷幼稚園のホールで

練習。本年は4月5日から練習を再開。お祭

りまでには打込み↓破矢↓宮昇殿↓鎌倉↓国

堅↓師調目↓破矢という「ひとつばやし」が

演奏できるよう努力している。参加の青少年

は現在24名。本会の世話人は平野順治・吉田

恒男。

平成10年度事業計画(案)

①六郷神社ついたち早朝まいり(定例)

昇殿参拝後、会員有志が交代で10分以内の

短い講話を行います(元日を除く)。

7月より10月まで 午前6時集合

11月より6月まで 午前7時集合

②創立記念日の献木式と添釜

11月3日午前10時30分からの献木式に続き、

大日本茶道協会のみなさんの奉仕により、

新庭園で添釜(野点)を行います。

③六郷ばやしの育成

由緒ある六郷ばやしの本格的な復活をめざ

し、昨年に引き続き、木村和治郎氏に出張

教授をお願いします。

④日帰りバス旅行

有名神社の参拝と会員親睦のための小さな

旅を企画します。

⑤平成11年1月3日六郷神社初詣(恒例)

会員とその家族の昇殿参拝を、左記のとお

り2回に分けて行います。

第1回昇殿参拝 午前10時30分

第2回昇殿参拝 午前11時30分

⑥創立10周年記念行事準備委員会発足

⑦崇敬会会報18・19号発行

収入の部		支出の部		円
個人	1,800,000	協賛	700,000	
法人	500,000	10周年	300,000	
会費	100,000	事業費	30,000	
雑収入	532,588	備品	600,000	
前合	2,932,588	報行費(第18・19号)	100,000	
		会費	200,000	
		事務	150,000	
		通費	30,000	
		会費	60,000	
		郵便	200,000	
		振替	350,000	
		消耗	20,000	
		外事	192,588	
		備	2,932,588	
		合		

「古稀」ということばがあります。七十歳の別称です。このことばのもとになったのは、中国の詩人杜甫の詩の一句「人生七十古来稀なり」からだと言われています。この句は「曲江」と題する詩の中でできます。

この詩の冒頭には、
—— 役所から退出すると春着を質に入れ、曲江のほとりです。酔いしれてから家に帰る。そしてそのつぎに、

酒代の借金はあたりまえのこと、行くさきさきについてまわる。どうせ人間はむかしから七十まではめつたに生きられるものでない。杜甫先生いささか自棄つぱちな表現です。この「古来稀なり」とは長寿を讃えるのではなく、七十まではなかなか生きられないものだ、人間の寿命のほかなさをいっている。だから今のうちに借金をしてでも酒を飲んだり、好き勝手しようという類麻的な気分が落ち込んでいる。

しかし、めつたにない七十に現実になったとなれば、やはりめでたい。現在では平均寿命が

どんどん伸び、七十歳は稀どころか平均以下になってしまった。そこで古希につづいて喜寿、傘寿、米寿などの長寿の祝いがエスカレートしています。

M先生は「古稀」をこのように紹介しました。ところが、T先生が文句をつけました。その内容ではなく「ヨミ」です。「人生七十古来稀なり」の「七十」は、「七十」ではないかという

なな しち
七か七か
宮崎 豊

のです。それに対し「七十を七十」と読んで何がいけないか、というのがM先生の返事。

T先生は、一般には七十は七十でもよい。ただ「人生七十古来稀なり」の七十を七十といわれたのではこまるというのです。その理由として、訓読ないしは訓読調の文では、四だの七だのということはない。「四十にし

て惑わず」であり、「男女七歳にして席を同じうせず」である。「四十にして惑わず」とは決していわない。そして七でなければならぬことばとして、「七五三」「四十七士」「竹林七賢」「七堂伽藍」「七転八倒」など、

たくさんの例をあげ、「人生七十古来稀なり」で、その文章を結んでいます。M先生は反論する。「七転び八起き」、「七度たずねて……」と、ナナと読むに決まっていることばがあるのも自明のことばで、シチの読み方しかないことばを列挙しても意味がないではないかと。

杜甫の詩の訓読だからシチというが、漢文古典の訓読は伝統的なもので、ある決まった読み方があると考えるのは一種の錯覚にすぎない。訓読というものを原文そのままに日本語に直す翻訳法だとすると、七十については、シチジュウとナナジュウと両方日本語として通用しているのだから、どちらをとるか

は好みの問題でしかない……。みなさんはいかがお考えですか。

◆六郷神社の茅の輪くぐり

6月30日は夏越の大祓。28日から社前に設けられる茅の輪をくぐって疫気や邪気を祓い、健康と長寿を祈りましょう。

◆氏子青年会会長に岩崎勝氏

4月12日の総会で、岩崎勝氏が新会長に選出されました。前会長の田畑久雄氏は相談役に就任。

◆新入会員紹介

西二・追分好治 前嶋重雄 広木隆 樋口敬二

◆平成10年度年会費

納入のお願い

お手数ながら同封の振替用紙で、年会費（平成10年4月1日から同年3月31日までの分）を、お納めください。社務所へお届けくださっても結構です。

発行 六郷神社崇敬会

〒144-0046 大田区東六郷三十一十八

六郷神社社務所内

電話 〇三―三七三二―二八八九

振替 〇〇一九〇一六一―二三五五三

編集 平野順治